

2018 年 4 月 6 日

各 位

アジア開発キャピタル株式会社
株式会社につぼんインキュベーション
クリアスエナジーインベストメント株式会社

クリアスエナジーインベストメント株式会社 PKS 初回出荷の報告

アジア開発キャピタル株式会社（東証二部上場、東京都港区、代表取締役社長：網屋 信介）（以下、「ADC」といいます。）および海外事業を担当する子会社、株式会社につぼんインキュベーション（東京都中央区、代表取締役社長：アンセム ウォン シュウセン）（以下、「NIL」といいます。）は、NIL 子会社クリアスエナジーインベストメント株式会社（東京都港区、代表取締役社長：アンセム ウォン シュウセン）（以下「CEI」といいます。）が手がけ、東マレーシア・サラワク州で展開しているバイオマス燃料の日本向け輸出事業におきまして、本年 3 月 25 日にその初荷となる PKS（Palm Kernel Shells：パーム椰子殻）を無事に出荷いたしましたことを報告いたします。

昨年より CEI は、バイオマス燃料の日本向け輸出事業の現地での準備に着手、東マレーシア・サラワク州・ビントウルにおきまして当該施設整備、体制構築を順調に進めてまいりました。本年 1 月からは原料の収集、精製を開始し、このほど 3 月 25 日に本事業の初荷となる PKS を関係各社のご協力も得まして、無事に現地から出荷をいたしました。

今後は現地での PKS 収集ネットワークの拡張、管理体制・精製精度の向上を更にはかり、より高品質な PKS を安定的に供給できるサプライヤーとして日本側関係各社に期待される事業体となるべく鋭意努力をしてまいります。本年 4 月より始まる 2018 年度は 10 万トンの PKS 出荷を予定しています。



弊社ヤードからの出荷光景

ビントウル港に向けてのトラック出荷



ビントウル港での荷役光景

トラックからコンベアで出荷船への積込



出荷バルク船、積込スペースの光景

PKS が搭載されています



現地管理メンバーと弊社ヤードにて

左より

クリアスマレーシア高級管理 LING.K.W

CEI 代表取締役社長 アンセム ウォン

クリアスマレーシア取締役・現地代表 小川

CEI 代表取締役会長 背戸

CEI 取締役 小杉